

競技規則・競技方法について

<囲碁の部>

1. 競技方法

- ① スイス方式により実施する。
- ② リーグ戦方式により実施する。

2. 競技規則

- ① 競技規則は、日本囲碁規則を準用する。
- ② 対局は、互先、六目半コミ出しで行う。
- ③ 対局時間は、各自30分（双方合わせて1時間）とする。
- ④ 対局中に競技上の問題が生じた場合には、速やかに審判に申し出て、判定・指示に従う。

<将棋の部>

1. 競技方法

- ① トーナメント方式により実施し、1回戦の敗者は敗者戦を行う。
- ② 組み合わせは抽選による。但し前回に優秀な成績を収めたものは、シード扱いとする。

2. 競技規則

- ① 競技規則については、(公社)日本将棋連盟規定を準用する。
- ② 対局は、オール平手戦とする。
- ③ 対局時間は、各自30分とし、切負けとする。なお、対局時計を用いる。但し、決勝戦は、各自35分とする。
- ④ 先手、後手は基本的には、5枚の振り駒で決めることとする。
- ⑤ 千日手が成立すると、先手、後手を入れ替えて、原則として残り時間で指し直すこととする。
- ⑥ 対局中に競技上の問題点が生じた場合には、速やかに審判に申し出て、判定・指示に従う。

<オセロの部>

1. 競技方法

- ① トーナメント方式により実施し、1回戦の敗者は敗者戦を行う。
- ② 組み合わせは、事務局に一任して頂く。但し前回に優秀な成績を収めたものは、シード扱いとする。

2. 競技規則

- ① 競技規則については、日本オセロ連盟・公式ルールを準用する。
- ② 先手・後手の決定は、ジャンケンにて行う。勝った者に次の選択権を与える。
@ 引き分けの時は勝利権 @ 石（先手・後手）の選択権
- ③ 駒は縦、横、斜で必ず相手の駒をはさめるところに打込み、すて駒はできないものとする。
- ④ 勝敗は相互の獲得した石数で決定する。双方打てない箇所については折半し、獲得した石数に加える。
- ⑤ 双方ともに、「待った」はないものとする。
- ⑥ 持ち時間は1局1人15分（双方合わせて30分）とする。但し、決勝戦は、各自20分（双方合わせて40分）とする。参加人数が多数の場合には、対局時間を短くすることもある。
- ⑦ 対局中に競技上の問題が生じた場合には、速やかに主催者（事務局）に申し出て、判定・指示に従う。